



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第2号

令和5年4月13日

(発行者) 佐古 達哉

♪ まずは「安心・安全」から

7日(金)の入学式・始業式を終えて、10日(月)から通常どおりの学校生活がスタートしました。この令和5年度の学校生活の始まりに向けて、「チーム佐織」の「先生チーム」もいろいろな準備・検討・取組を進めてきたので、その一部をご紹介します。

【安心・安全な給食の実施に向けて】

5日(水)に、先生たちで自主研修会を実施しました。食物アレルギー等をもつ生徒の詳細な情報をみんなで共有したり、アナフィラキシーショックと思われる症状が出た時の対応についてロールプレイを交えながら体験したりして、万一の事態にも対応できるよう準備をしました。



また10日(月)からは、給食開始とともに、4年ぶりの「ランチルーム全校給食」となりました。4年ぶりともなると、人の動きや準備などを知っている先生もかなり少なくなっていたため(もちろん生徒は誰も経験がありません)、給食主任の先生を中心に綿密に計画を立てた上で、先生たち同士が実際にランチルームで動きながら手順を検討・確認して10日を迎えました。

そんな準備の末に迎えた初給食は、生徒の協力のおかげで実にスムーズに準備・会食・片付けができました。その日の夕方には、先生たちが「気付き」を共有し合う場を設けて、早速翌日の給食に改善点を反映しました。



【登下校や学校生活の安全確保に向けて】

10日(月)の朝や生徒の下校時から、教員が校区内の危険個所に立ち、登下校する生徒に立哨指導をしています。自転車の左側通行や交差点・横断歩道の手前での徐行・安全確認を重点ポイントとして指導をしています。ご家庭や地域でも、ぜひ多くの方の声かけにご協力をお願いいたします。

11日(火)には、「第1回避難訓練」を実施しました。年度初めの訓練ということで、避難経路の確認、避難時の約束事の確認、津波発生時の高所避難方法の確認を目的としましたが、お互いの「いのちを守り合う」学校として、生徒・教職員が高い意識をもって整然と取り組むことができました。



運動場に避難した後は、津波に備える想定で、校舎4階に全員が避難をしました。コロナ禍の3年間は、お互いの距離が「密」になるため、この避難訓練ができなかったのですが、こちらも4年ぶりに実施をしました。校務主任から「自分ごととして考えることが大切」という話をしてもらいましたが、高い意識で取り組むことができた今回の訓練のような積み重ねを継続して、多様性を尊重し合う学校の中にも、必要な時には全員の心が一つまとまる力が育まれていくことを願います。